

第4章

中部地震関連新聞記事

協力（五十音順）

一般社団法人共同通信社

株式会社朝日新聞社

株式会社産業経済新聞社

株式会社新日本海新聞社

株式会社毎日新聞社

株式会社読売新聞社大阪本社

鳥取中部 震度6弱

県内で6人けが

2700人避難、余震続く



震度6弱の地震が襲い、エントランス付近の天井が落ちた鳥取県立未来センター。21日午後2時40分、鳥取県鳥取市駐輪場町

21日午後2時7分ごろ、鳥取県で震度6弱の地震があった。倉吉市、福船町、北栄町で震度6弱、鳥取市鹿野町、三朝町などで震度5強を記録したほか、関東から九州にかけて広い範囲で揺れを記録した。気象庁によると、震源地は鳥取県中部で、震源の深さは約11キロ。地震の規模はマグニチュード(M)6.0と推定される。津波の心配はない。その後、同県などで震度4を記録するなど、余震とみられる揺れが続いた。

(2、5、24、25、26、27面に関連記事)

鳥取県内では、福船一建物の被害も相次ぎ、市内の小学校で避難中のき、関係者の建物群界崖が崩壊して手を待たない地区の倉吉市の白折する重傷、5人が軽傷、壁土崩落の壁の一部が倒壊したほか、倉吉未来センター、4市町で来中心のつり天井の一部が落下し、約2700人が避難した。避難先は、体育文化センター、鳥取県立未来センター、愛媛県伊方町の伊方町立中学校、北栄町に

鳥取県は災害対策本部を設置、倉吉市内の一部地域で断水が続いているため、平井自治体は自衛隊に給水の要請、同市は災害対策本部を設けて、被災者の収容に当たっている。



災害救助法の適用を求めた。政府は、首相官邸内の危機管理センターに官邸対策室を設置、警察は災害対策本部を設けて、被災者の収容に当たっている。

道路に亀裂 瓦崩落



鳥取県中部地震で被害を受けた白幡半田町の建物。21日午後4時43分鳥取県中部地震

鳥取中部地震

役所被災で機能不全

震源の深さが浅く、広範囲にわたって揺れが大きかった。鳥取県中部地震は、鳥取県中部を震源とする。震源の深さは約10キロメートルと浅く、震動が地表に伝わりやすかった。鳥取県中部地震は、鳥取県中部を震源とする。震源の深さは約10キロメートルと浅く、震動が地表に伝わりやすかった。

避難所で不安な一夜

避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。

避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。

避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。

避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。避難所での生活は不安な一夜を過ごす。

鳥取中部 震度6弱

近畿、四国も揺れ

M 6.6 5府県24人重軽傷



地震で屋根瓦が落ちた建物（21日午後4時31分、鳥取県倉吉市で、本社ヘリから）＝大久保忠司撮影

21日午後2時7分頃、鳥取県中部を震源とする地震があり、同県倉吉市や湯梨浜町、北栄町で震度6弱を観測した。気象庁によると、震源の深さは11㎞、地震の規模を示すマグニチュード(M)は6.6と推定される。揺れは広範囲に及び、京都、大阪、兵庫各府県などでも震度4を記録。読売新聞のまとめでは、鳥取県で16人、岡山、兵庫両県で各3人、大阪府、和歌山県で各1人の計24人が重軽傷を負った。鳥取県によると、同県三朝町の無職男性(86)が行方不明。同県内で全壊3棟を含む83棟の損壊が確認され、約3000人が避難しているという。(関連記事4・8・32・33面)

気象庁によると、鳥取市で震度1〜4の地震が1分間に地震が起き、北栄町や岡山県真庭市などで震度0.3回あった。県中部では、震度4を観測していた。5強、香川、愛媛各県などで昨年10月から今年20日までで震度4を観測。鳥取県でM4クラスの地震が3回、宇の青木元・地徳津波監視はその後も22日午前0時までは発生し、21日も午後0時12分、震度は「今後1週間程度、



- 震度6弱 鳥取県倉吉市、湯梨浜町、北栄町
- 震度5強 鳥取市、鳥取県三朝町、岡山県真庭市、鏡野町
- 震度5弱 鳥取県琴浦町、日吉津村、鳥根県陽岐の島町
- 震度4 鳥取県米子市、境港市、岡山市、岡山県津山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、備前市、赤磐市、松江市、鳥根県出雲市、安来市、大田市、広島市、広島県庄原市、安芸高田市、廿日市市、呉市、江田島市、竹原市、尾道市、高松市、愛媛県今治市、兵庫県豊岡市、姫路市、たつの市、南あわじ市、京都府与謝野町、大阪府四條畷市、山口県岩国市、柳井市
- 震度3 鳥根県浜田市、松山市、徳島市、神戸市、京都市、大阪市、堺市
- 震度2 福岡市、北九州市

震度6弱程度の地震に注意してほしいと呼びかけた。

倉吉市役所では、窓ガラスが割れるなどして業務が困難になり、同市内の県中部総合事務所に対策本部を設置。21日午後10時現在、市内の小中学校など18か所に計1921人が自主避難し、湯梨浜町などでも500人以上が避難している。

三朝町の男性は21日午後1時30分頃、自宅近くの畑にいたが、妻に「竹を取りに行く」と言った後、連絡が取れなくなったという。

鳥取県は、倉吉市と湯梨浜町、北栄町に災害救助法の適用を決めた。

一方、陸上自衛隊米子駐屯地は、倉吉市内で多数の世帯が断水しているとして鳥取県から災害派遣の要請を受け、21日夜、隊員約30人で給水支援活動を始めた。

JR西日本によると、停電のため山陽新幹線新大阪―博多間で運転を見合わせ、20分後に再開。JR東海によると、東海道新幹線は地震防災システムが検知したため新大阪―豊橋間で15分間運転を停止した。

中国電力によると、震度4を記録した松江市にある鳥根原子力発電所1、2号機(運転停止中)と、建設中の3号機のプラントに異常は確認されなかった。福井県内の原発15基(廃炉決定分を含む)、3号機が運転中の愛媛県伊方町の四国電力伊方原発にも異常はなかった。

鳥取県内で震度6弱以上の地震を観測したのは、最大震度6強で負傷者182人、全壊家屋435棟の被害が出た2000年10月6日の鳥取県西部地震以来。

鳥取中部で震度6弱



倒壊で損壊した建物＝鳥取県東郷町で
21日午後6時56分、日本一輝撮影

デジタルプラス
写真特徴と動画



【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎ、鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

21日午後6時56分、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

M 6.6 1人行方不明 20人重軽傷、300人避難

【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

MAINICH 新毎日

10月22日(土)
2016年(平成28年)
発行所：大福市北区西田3丁目4番5号
〒630-0051 電話：0870-4345-1511
同日新聞大阪本社

SINCE 1896
120
ANNIVERSARY
白十字

ニュースの扉

「お早よう」に四半それぞれアクセント	東大阪市 塚本浩一
日銀、物価目標先送り検討	
日本シリーズきょう開幕	
旧奈良監獄 重文に	
秋田 高速道逆走3人死亡	

スポーツ22-23
くらしナビ11-20
証券5-7・10
社説5

新・朝刊13
文芸12・13
みんなの広場9
読んであげて14

【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

【鳥取県】鳥取県中部で21日午後6時56分、日本一輝撮影。震度6弱を記録した地震が発生し、鳥取県中部を中心に強い揺れが続き、倒壊や被害が相次ぎました。鳥取市や山形町などでも被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。鳥取県中部でも倒壊や被害が相次ぎました。

中部地震関連新聞記事



余震が続くため、町内会のビニールハウスに避難した人たち。北条町で午後10時7分、山崎一博撮影
壁が崩れた倉吉市の白壁の土蔵。午後4時38分、寺元浩撮影



体育館に避難し、不安そうな人たち。倉吉市の成徳小学校で午後6時51分、小関勉撮影



白壁の街 無残

鳥取・震度6弱

写真はいずれも鳥取県で21日



強い地震で被害を受けた多目的ホール。倉吉市で午後2時40分
地震で落ちた神社の鳥居。同市で午後7時半、三浦博之撮影



避難所にテントを張って寝る。被災者女性、被災地を視察にテントを買ったが「まさかの雨」があるとは思ってこいなかった。北条町で午後7時38分、山崎一博撮影



倉吉市役所に到着した県からの支援物資。午後10時17分、原田仁史撮影



地ではたくさんのお盆が倒壊した。倉吉市で午後5時38分、三浦博之撮影

鳥取で震度6弱

西日本中心広域で揺れ

21日午後2時7分、鳥取県中部で震度6弱の地震を観測した。震源の深さは約11km。地震の規模を示すマグニチュード(M)は6.6と推定される。中国地方を中心に関東から九州の広い範囲で揺れが確認された。気象庁によると、揺れの激しかった地域では1週間程度、最大震度6弱程度の揺れの恐れがある。

1週間 同程度の地震の恐れ



気象庁の青木元・地震課長は記者会見で、この地域では、大きな地震が3面、ひびすき集中、6面、工場一時停止、30面、150、先で、31面不安な夜



屋根瓦が壊れ、壁も倒壊していた。21日午後4時頃、鳥取県倉吉市。本社は橋から、川村徳子撮影

アンタルに空襲被害

重軽傷者は20人

朝日新聞が各県や消防に取材したところ、22日未明までに鳥取、岡山、兵庫、大阪、和歌山の各府県で約20人の重軽傷者が報告されており、うち鳥取県内が16人。同県鳥取市では小学3年の男児が避難途中に転倒し

観測したのは、2000年10月の鳥取県西部地震(M7.3)以来、このときは震度6強を観測し、避難者約1万5000人が発生、4356棟が全壊し、3101棟が半壊した。今回震度6弱を観測したのは鳥取県の倉吉市、鳥取市、北栄町。震度6強は鳥取市や岡山県総社町など。震度4は広島市、高松市など。大阪府の豊中市、吹田市、大阪市などで震度3、名古屋市、福岡市などで震度2、東京都心などで震度1を観測した。

鳥取市など揺れ激し、地震の関連を調べている。鳥取市災害対策本部などに、同県内では建物約4棟、一部損壊7棟の計約30棟に被害が確認された。倉吉市役所本庁舎は窓ガラスが割れ破片が散らばり、市内にある県の施設が、市の災害対策本部を開設した。同県内では倉吉市など

ど中部を中心に避難所が開設され、21日深夜までに約2980人が避難した。消防署は鳥取知事の災害派遣要請を受け、給水のために陸上自衛隊の部隊を倉吉市に派遣した。中国電力によると、地震の影響で鳥取、岡山の両県で約7万7100戸が停電したが、21日夕までに

復旧、鳥取線1、2号機(松江市)は運転しておらず、建設中の3号機も含め影響はないという。JR西日本などによると、東海道・山陽新幹線も地震発生から一時、運転を見合わせた。高速道路では、岡山県内の中国自動車道などの一部区間で一時通行止めになった。

横揺れ150キロ先でも



雑居ビルの壁面が崩れ、歩道に散乱した外装のタイル
—21日午後6時4分、鳥取県倉吉市、橋本敦撮影

大阪 姫路エレベーター停止

大阪の兵庫なく、震源地から170キロ近く離れた地域でも、高層ビルのエレベーターが停止するなどの被害を受けた。地上300メートルの高層ビル「あべのハルカス」(大阪府阿倍野区)では、急降(5秒)60階に約150秒、エレベーターの停止が確認された。約60人はエレベーターの停止を待たせられた。約40人はエレベーターの停止を待たせられた。約40人はエレベーターの停止を待たせられた。

家具固定・避難場所確認 次への備え

気象庁は、引き続き地震活動に注意するよう呼びかけている。一連の熊本地震の記憶は新しく、また大きな揺れがあるのではないかと、不安は募る。暮らしの中でどのような点に気をつけたいのだろうか。3人の専門家に聞いた。
松江市の元消防防災・危機管理アドバイザーの林繁幸さん(66)は、室内では割れたガラス、壁外では落ちた屋根瓦などを踏んでけがをしないよう、スリッパや厚底の靴を準備するよう勧める。「用心するに越したことはない。いまのうちに備えを」と呼びかける。防災が専門の大槻知史・高知大准教授(40)は、あらかじめ家具を固定し、家族で避難場所を確認するよう助言する。
神戸市の料理研究家で防災教育スペシャリストの坂本廣子さん(69)は「地震でストレスが高まると、免疫力が弱りがち。衛生に気をつけて、健康を守ってほしい」と話す。

いまだできる備え

- 高い場所にあるものを下ろし、家具が固定できているか確認する
- 窓ガラスや食器棚のガラスが割れる恐れがあるので、逃げる際に踏まないよう枕元や床に敷物を敷く
- 外に出る際は、足にけがをしないよう厚底の靴を履く
- 断水に備え、くみ置き水を確保
- 自宅の周りの避難場所を確認



用意しておきたい持ち物

- ペットボトルの水、懐中電灯、ラジオ、処方されている薬やお薬手帳、お菓子などの非常食、ライター、毛布、スマートフォンやタブレットは充電を



避難所などでの健康上の注意

- 水をこまめに飲む。1時間100ccを目安に、丁寧にかむように飲む。脱水症状にならないように気をつける
- 汚れた手で直接食べ物に当たったり作業したりしないように、手は洗えないときはウェットティッシュで手をよくふく。菌を付けないことが大事。ラップを使ったり、ポリ袋で手をくるんだらしてもいい
- 歯磨きを欠かさず、口内を清潔に保つ



林繁幸さん、大槻知史さん、坂本廣子さんへの取材にもつづき作成

他県も負傷者相次ぐ

震源地から離れた山形県や秋田県でも、負傷者が相次いで発生している。山形県では、鶴岡市で、80代女性が倒れ、後頭部を打った。和歌山県では、和歌山市で、70代の女性が倒れ、肋骨骨折を訴えた。また、兵庫県加古川市では、近郊の自宅で倒れた女性が、肋骨骨折を訴えた。近郊の自宅で倒れた女性が、肋骨骨折を訴えた。

山陽新幹線遅れ 3万人超に影響

山陽新幹線が、21日午後4時半まで一時停止した。乗客10万人超が影響を受けた。JR西日本は、乗客10万人超が影響を受けた。乗客10万人超が影響を受けた。

安室さん公演中止

鳥取市の安室さんによる、21日午後7時30分開始のコンサートが中止になった。主催者は、公共交通安全を第一と判断したと説明した。

山陽新幹線遅れ 3万人超に影響

山陽新幹線が、21日午後4時半まで一時停止した。乗客10万人超が影響を受けた。JR西日本は、乗客10万人超が影響を受けた。

鳥取 震度6弱

11人負傷 住宅倒壊

M 6.6 7万7100戸一時停電



激しい揺れにより墓石や石塔が崩れた寺院—21日午後3時34分、鳥取県倉吉市 (本社ヘリから、宮沢宗士郎撮影) 産経WESTに動画

21日午後2時7分ごろ、鳥取県中部の倉吉市や湯梨野町、北栄町で震度6弱の地震があった。岡山県北部で震度5強、島根県西部でも震度5弱を記録。関東から九州にかけての広い範囲で揺れを観測した。気象庁によると、震源地は鳥取県中部で、震源の深さは約11キロ。地震の規模はマグニチュード(M)6.6と推定される。津波はない。

総務省消防庁によると、1人が軽傷を負った。鳥取県北栄町では住宅2棟が倒壊した。岡山県では、小学3年の男児が手の骨を折る重傷のほか、5人が軽傷。岡山県では、倉吉市で複数の店舗が倒壊した。倉吉市で瞬間的な揺れの強さを示す加速度1.494を記録。熊本地震とほぼ同レベルだった。大阪警区气象台によると、観測された地震の規模はマグニチュード(M)6.6と推定される。津波はない。

長岡期地震動の「階級3」だった。同气象台は「揺れの強かった地域では今後1週間ほど、震度6弱程度の地震に注意が必要」と指摘。鳥取県や岡山県で震度4を観測するなど、余震とみられる地震が続いた。警察などにもよると、震度3を記録した兵庫県加古川市で女性(78)が転倒して左足を骨折したほか、大阪市や和歌山市でもそれぞれ1人が軽いけがをした。また、湯梨野町庁舎のタイル壁などが割がれ落ちる被害があった。中国電力によると、鳥取、岡山両県で延べ約7万7100戸が一時停電した。

岡山空港が滑走路を一時閉鎖。山陽新幹線の新大阪―博多間、東海道新幹線の一部で一時運転を見合わせた。JRの列車が瀬戸大橋で立ち往生し、約430人が一時閉じ込められた。岡山県内の中国自動車道や岡山自動車道の一部も通行止めとなった。各電力会社によると、運転を停止している松江市の鳥根駅発、3号機が営業運転している愛媛県伊方町の

ひずみが蓄積企業 確認急ぐ写真グラフ
【今後も警戒を】
余震 不安な夜
29 28 27 8 3



伊方駅発に異常はなかった。福井県内にある原発など各原子力関連施設でも異常は確認されていない。震度5弱以上の各地の主な震度は次の通り。
震度6弱 倉吉英町、湯梨野、北栄、北栄下(鳥取)▽
震度5強 鳥取西野小学校、鳥取西野、鳥取青谷、三朝、湯梨野町役場、北栄由良宿(鳥取)、真庭山下、福田、湯野上香原(岡山)▽
震度5弱 鳥取(鳥取) 真庭木津(岡山)など
官邸対策室を設置
安倍晋三首相は21日、鳥取県中部で発生した震度6弱の地震を受け、関係省庁に対し、被害状況の早急な把握や自治体と連携した救命・救助などの災害応急対策、国民への的確な情報提供に取り組みよう指示した。政府は官邸の危機管理センターに官邸対策室を設置。各省庁の局長らによる緊急参集チームの会合で、被災地への広域応援を行うことなどを確認した。

234棟損壊 重軽傷16人



前に傾入、地震で壊れた屋根にブルーシートを張る人たちが22日午前、鳥取県倉吉市元町通保社へりから

鳥取中部地震

余震160回超 なお1324人避難

鳥取県中部で最大震度6弱を記録した地震は、翌も余震とみられる揺れが断続的に続いた。県災害対策本部によると、22日午後4時までに34棟の家屋が損壊し、16人が重軽傷を負った。1市4町で1324人が避難を強いられている。19日朝日から自治体によるボランティアの受け入れが始まり、復旧に向けた動きも本格化した。



鳥取県中部の地震による被害・避難状況 (22日午後4時現在)

人的被害 16人
(重傷2、軽傷14)

住宅被害 234棟
(全壊3、半壊2、一部破損229)

公共土木施設被害 42カ所
(河川1、砂防3、道路30、橋りょう3、その他5)

住民避難 1,324人
(倉吉979、三朝199、北栄65、湯梨浜74、草津7)

鳥取県中部で34棟の家屋が損壊し、16人が重軽傷を負った。19日朝日から自治体によるボランティアの受け入れが始まり、復旧に向けた動きも本格化した。

鳥取県中部で34棟の家屋が損壊し、16人が重軽傷を負った。19日朝日から自治体によるボランティアの受け入れが始まり、復旧に向けた動きも本格化した。

受け皿となる「ボランティアセンター」も設置された。

一方、県中部のホテル・旅館で宿泊予約のキャンセルが相次ぎ、観光面に影響を及ぼしている。

鳥取県では22日昼すぎから雨が降り、土壌が湿りやすくなり、土砂災害の警戒も呼び出されている。

(田村 隆彦)

被害の実態次々に



避難所で支給されるおにぎりをもろう子どもら＝22日午前7時10分、鳥取県鳥取市の河北小体育館

「こんな大惨事になるとは」。鳥取県中部を震源に震度5弱を記録した地震から一夜明けた22日、次々と被害が明らかになった。崩壊する道路、崩れ落ちた民家、観光施設は損壊。被災者は崩れ落ちたガラスや壁の破片などの片付け作業に進む。避難所では配給されたおにぎりで空腹を満たす家族ら。余震が続く中、不安を抱えながら生活再建へ向かう。



道路の陥没を調べる国土交通省鳥取県川部事務所の職員＝22日午前1時4分、鳥取県北栄町千手



鳥取県鳥取市内で行われた給水作業＝22日午前（共同通信社ヘリから）



地震の影響で東郷池の伝統漁法「四ツ手網」の小屋が傾いた＝22日午後2時20分、鳥取県東郷池共済地



崩れた屋根にブルーシートを張る人々＝22日午前、鳥取県北栄町



鳥取 余震160回超 避難1300人 支援本格化

鳥取県中部の倉吉市と湯梨浜町、北栄町で震度6弱を観測した地震で、県は22日、各自治体が運営する避難所などに食料や毛布などの物資の支援を本格的に始めた。6弱を観測した3市町と、三朝町などを中心に避難者数は同日午後4時時点で計1324人。一部で車中泊をした被災者もあり、県は避難状況や健康状態の把握を進める。

30面に「長周期地震動」、31面に「車中泊続く」

住宅被害は北栄町で3棟が全壊、2棟が半壊。三朝町や湯梨浜町を中心に計229棟が一部破損した。けが人は再集計した結果、重傷2人を含む計16人。近県の負傷者数は変わらず、全体で計21人になった。

鳥取地方気象台による
瓦が崩れ落ちた屋根にブルーシートを掛ける住民ら
22日午前、鳥取県倉吉市
(本社ヘリから、古殿正樹撮影)

被害状況 ※10月22日 午後4時現在

負傷者	21人
住宅被害	全壊 3棟
	半壊 2棟
	一部破損 229棟
避難者	1324人

と、21日の震度6弱以降、22日午後6時までに震度1以上の地震は162回発生。「今後1週間ほど震度6弱程度の地震に注意が必要」と警戒を呼び掛けている。三朝町では21日の地震後、男性(86)が行方不明になっていったが、22日早朝、自宅近くで無事に保護された。

被災地では住宅の瓦が崩れる被害が相次ぎ、各自治体が被災者にブルーシートを配布。倉吉市など3市町が災害ボランティアセンターを設置した。同町のボランティアセンターでは受け付けを始めており、がれきの撤去や、屋根のブルーシート張りなどのボランティアを求めている。

「いつ帰れるのか」

前向きに考えないと…

緊急連載
その時…わがまちは
10・21鳥取中部地震
《上》



震度6弱の地震で割れた窓ガラスの破片が散乱する倉吉市役所。21日鳥取県倉吉市

見慣れた建物が軒並み姿を変えた。「家中めっちゃくちゃ」「瓦が落ち、壁はひび割れた」。被災者は口々に惨状を語る。

避難所生活は21日4日目。余震が続き、身を寄せる住民の不安やストレスも募る。「怖くつれるのか」「怖くて眠れない」。上瀬小（倉吉市）の体育館で過ごした人からそんな声が続いた。

心臓病を患う森下勝子さん（72）は同市昭和町2丁目。「は言う。私も体が弱り、精神的にもきついが、住民が自ら前向きに考えないと復旧は始まらない」

■現場は混乱
ほとんどの被災自治体が「初動はスムーズ（倉庫止道橋梁班班長）と振り返る。しかし、現場は混乱を極めたのが実態だ。

倉吉市で火災3件発生、湯梨浜町で家庭倒壊…。飛び交う情報に、職員や警察官は振り回された。「現場で聞く話と違つ」。県の災害

援の動きが広がる。家屋の被害が大きい北栄町では21日、鳥取県西部地震で被災した日野町の職員が入り、罹災証明書発行に向けた調査などで支援。同町の池田俊弘産業振興課長は「経験を生かして助けたい」とした。

■心のケア
学校は授業中だった。「訓練通りに避難し、十分な対応ができた。明倫小（倉吉市）の谷口卓人教頭の述べは、多くの学校関係者を代弁する。

「児童の引き取り先」。避難後、学校から保護者に緊急電子メールが送られた。しかし、状況が書き込まれた。

■行き場がない
停電、断水…。備品を搬出した直後、厚生病院（倉吉市）の会議室に設けた災害対策本部のホワイトボードに、次々と院内の状況が書き込まれた。

ライフラインは病院設「ウェルヴェチア」の生命線。医療機器は（倉吉市）では、全員が除外へ避難するまでが、エレベーターは動かせず、足腰の弱い患者らを人海戦術で搬送し、人工透析も一時でえなくなった。

「今日から通常の体制に戻します」。24日朝、井藤久雄院長が幹部職員ら約60人の前で「復旧」を告げた。中絶していた病院食の提供も再開するなど、平穏を取り戻しつつあるが、一方で不眠に陥る患者も少なくない。

福祉の現場にも深刻な課題を残す。入所者が、被災の実像や関係者のほとんどが車いすを対応を過ぎ、震災が突きた利用する障害者支援施設に課題を挙げる。

雨予報 作業急ピッチ

県内外ボランティアも活躍



雨漏りの可能性がある屋根にブルーシートを張るボランティア
25日、鳥取県北栄町西園

鳥取中部地震

最大震度6弱を観測した地震に襲われた鳥取県中部では25日、強風と雨の予報に伴い、住民や県外から駆け付けたボランティアらが破損した屋根にブルーシートを張ったり、風で飛ばないよう土のつを乗せたりする作業に奔走した。一斉、高齢者や一人暮らし世帯ではシート張りの要請が相次いでいるが、行政の対応が追いつかない課題も浮上している。(取材班)

この日、被災者宅で展開、傷んだ部分を補は家族や業者が急ピッチで作業。倉吉市昭和町2丁目の主婦(67)は、知人の協力を得て自宅屋根のシートを張り直した。「風がめくれってしまった。雨が降る前に終わらせてしまわない」と話し、今にも雨が降り出しそうな曇り空を見上げた。県内外から駆け付けたボランティアも活躍した。このうち、熊本地震の被災地で住宅のシート張りなどの支援を続ける熊本県内のグループ「フキシンズ」は北栄町西園で活動を

最大震度6弱を観測した地震に襲われた鳥取県中部では25日、強風と雨の予報に伴い、住民や県外から駆け付けたボランティアらが破損した屋根にブルーシートを張ったり、風で飛ばないよう土のつを乗せたりする作業に奔走した。一斉、高齢者や一人暮らし世帯ではシート張りの要請が相次いでいるが、行政の対応が追いつかない課題も浮上している。(取材班)

同グループメンバーで熊本地震を体験した大城秀一さん(27)は、熊本で縄跳出身は、熊本での経験を基に厚手のシートを適当な住民に助言。屋根で作業中の人が、土のう袋が破れて出てきた砂に足を滑らせ、転落して怪我した。熊本地震の被災地で住宅のシート張りなどの支援を続ける熊本県内のグループ「フキシンズ」は北栄町西園で活動を

ト張り。一般のボランティアでは作業が難しい上に専門業者の手配も間に合わず、シートを張ることができない被災者宅も少なくない。倉吉市の災害ボランティアセンターでも8割を占めるシート張り。一般のボランティアでは作業が難しい上に専門業者の手配も間に合わず、シートを張ることができない被災者宅も少なくない。倉吉市の災害ボランティアセンターでも8割を占めるシート張り。一般のボランティアでは作業が難しい上に専門業者の手配も間に合わず、シートを張ることができない被災者宅も少なくない。倉吉市の災害ボランティアセンターでも8割を占めるシート張り。